

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公開番号】特開2009-245834(P2009-245834A)

【公開日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2009-042

【出願番号】特願2008-92572(P2008-92572)

【国際特許分類】

H 05 B 37/02 (2006.01)

【F I】

H 05 B 37/02 A

H 05 B 37/02 H

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の光源の各々に、該複数の光源の各々の点灯状態を制御する制御部を備える照明装置において、

該各々の制御部は、

該複数の光源の点灯状態を同期させる同期手段を備えることを特徴とする照明装置。

【請求項2】

複数の光源の点灯状態を各々独立して制御する制御部を備え、該制御部は、電源の切状態から入状態になるまでの第1経過時間に対応して前記光源の点灯状態を切り替える照明装置において、

前記制御部は、

前記電源の入状態から切状態になるまでの第2経過時間が所定の時間を経過した場合に、前記複数の光源の点灯状態を同期させることを特徴とする照明装置。

【請求項3】

電源の入状態／切状態を検出する検出部と、

電源の切状態から入状態になるまでの第1経過時間を計時する第1計時部と、

電源の入状態から切状態になるまでの第2経過時間を計時する第2計時部と

を備え、

前記制御部は、

前記第2経過時間が第2閾値より長い場合において、前記第1経過時間が第1閾値より短いとき、光源を所定の点灯状態に制御するように構成してあることを特徴とする請求項2に記載の照明装置。

【請求項4】

光源の異なる点灯状態間の遷移情報を記憶する記憶部を備え、

前記制御部は、

前記第2経過時間が前記第2閾値より短い場合において、前記第1経過時間が前記第1閾値より短いとき、直近の点灯状態から記憶した遷移情報に応じて遷移した点灯状態で光源を点灯すべく制御するように構成してあることを特徴とする請求項2に記載の照明装置。